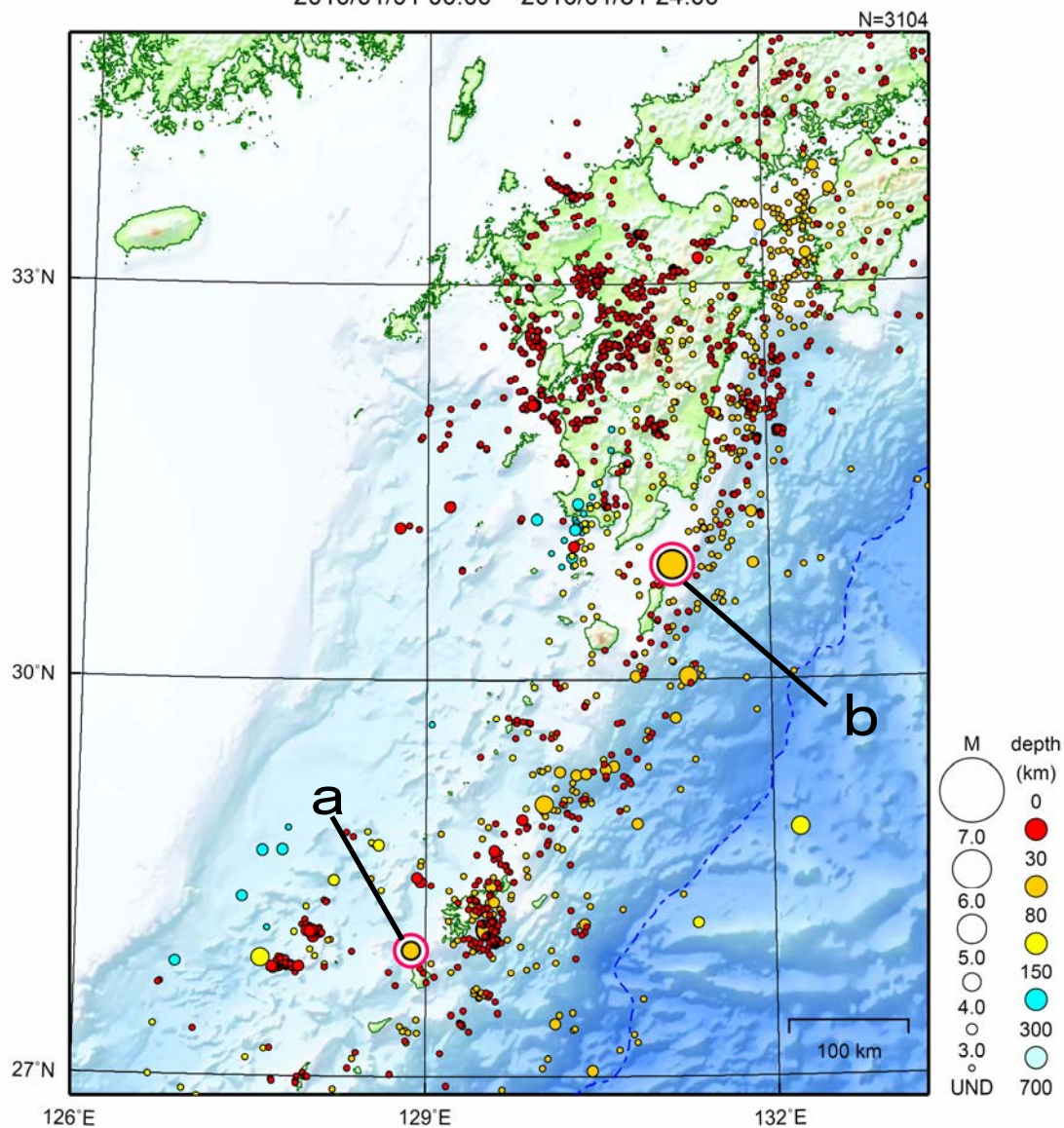


# 九州地方

2010/01/01 00:00 ~ 2010/01/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

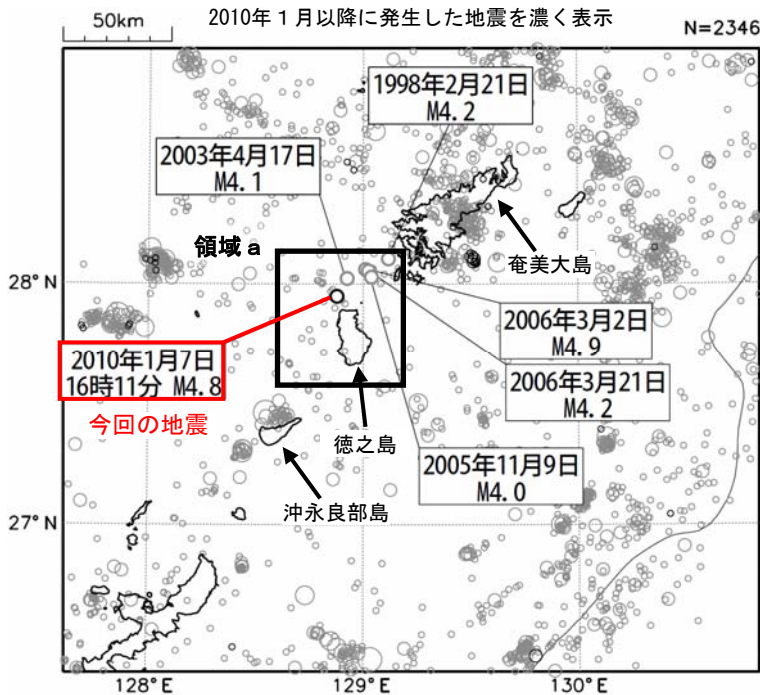
- a) 1月7日に奄美大島近海で M4.8 の地震（最大震度4）が発生した。
- b) 1月25日に大隅半島東方沖で M5.4 の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 1月7日 奄美大島近海の地震

震央分布図

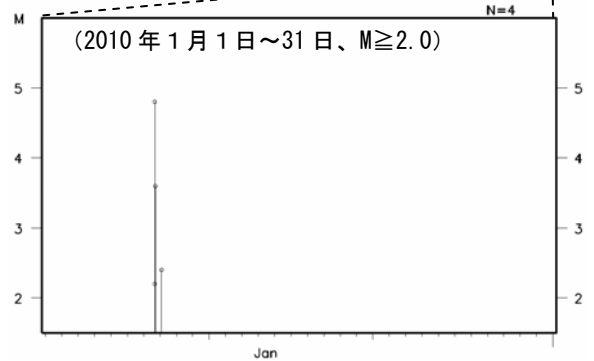
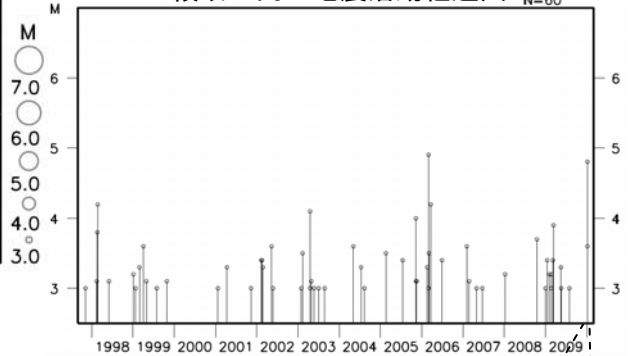
(1997年10月1日～2010年1月31日、深さ0～90km、 $M \geq 3.0$ )



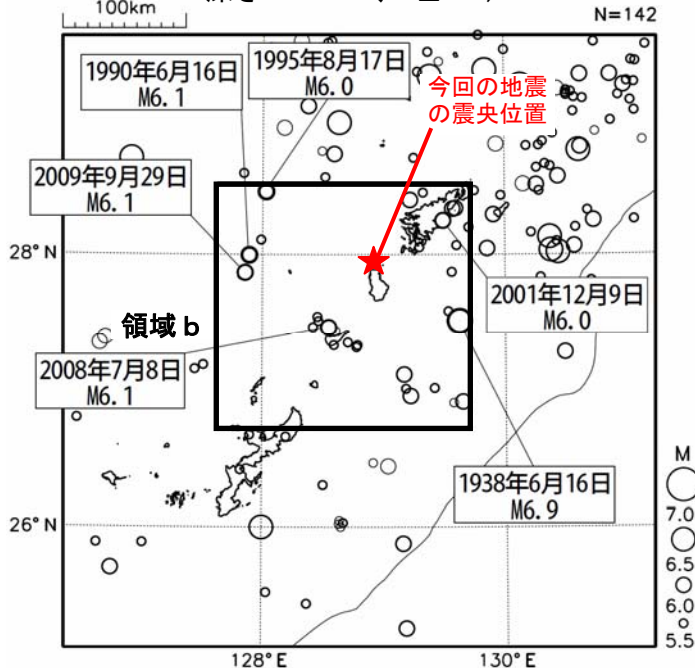
2010年1月7日16時11分に奄美大島近海でM4.8の地震(最大震度4)が発生した。余震は1日程度でおさまっている。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M4～5程度の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震は発生していない。

領域 a 内の地震活動経過図

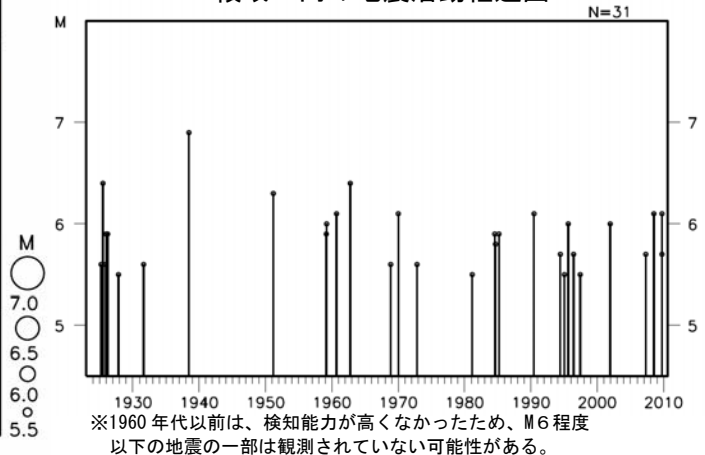


震央分布図 (1923年8月1日～2010年1月31日、深さ0～90km、 $M \geq 5.5$ )



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)は、M6.0以上の地震がしばしば発生している領域である。

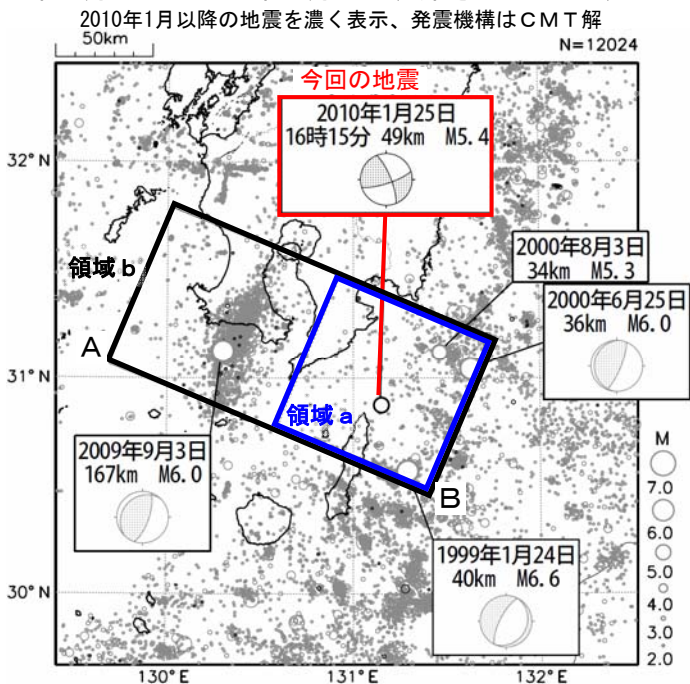
領域 b 内の地震活動経過図



# 1月25日 大隅半島東方沖の地震

震央分布図

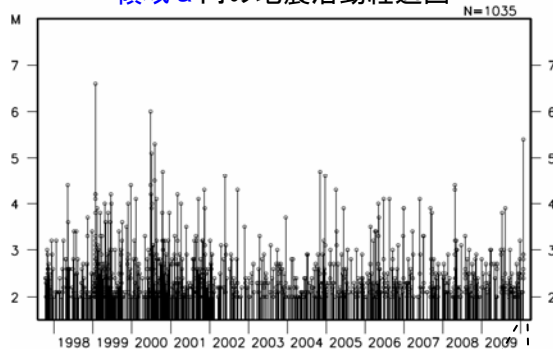
(1997年10月1日～2010年1月31日、深さ0～200km、 $M \geq 2.0$ )



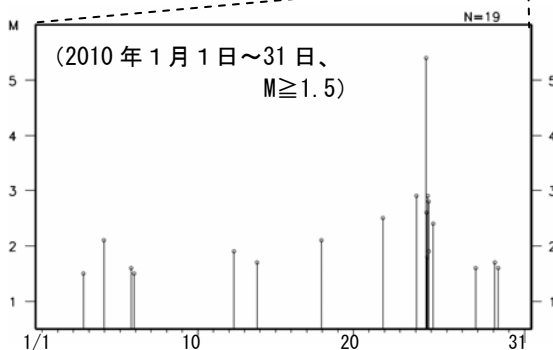
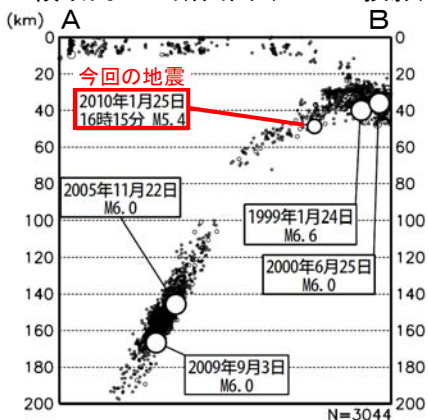
2010年1月25日16時15分に大隅半島東方沖の深さ49kmでM5.4の地震(最大震度4)が発生した。今回の地震の発震機構(CMT解)はフィリピン海プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震と考えられる。余震活動はおさまっている。

今回の地震の震央付近(領域a)でM5.0以上の地震が発生したのは、2000年8月3日のM5.3の地震(最大震度3)以来である。

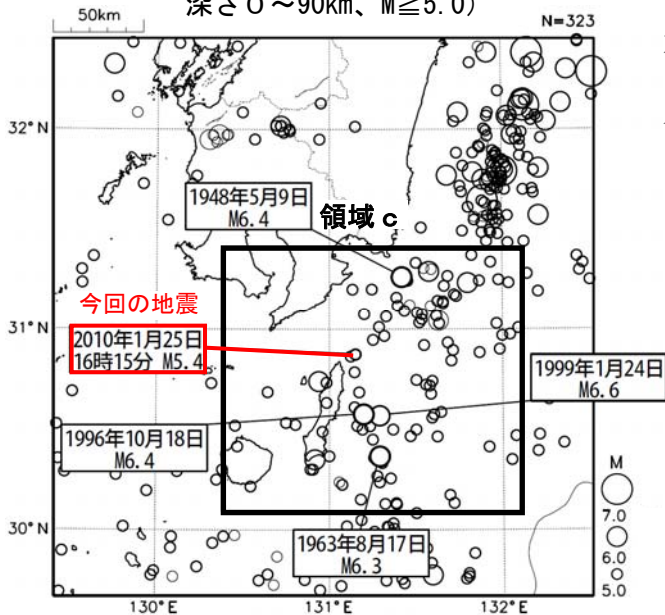
領域a内の地震活動経過図



領域内bの断面図(A-B投影)

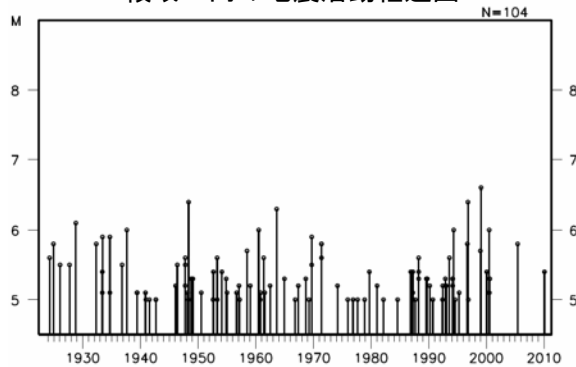


震央分布図 (1923年8月1日～2010年1月31日、深さ0～90km、 $M \geq 5.0$ )



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)は、M6.0以上の地震がしばしば発生している領域である。1996年10月18日に発生したM6.4の地震(最大震度4)では、種子島で17cmの津波を観測している。

領域c内の地震活動経過図



気象庁資料